



教育推進室だより

第17号

平成30年9月14日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室



創意ある教育を見据えて － 武蔵野市ならではのよさ －

武蔵野市立小中学校長会
会長 藤橋 義之（大野田小学校長）

昨年3月、平成2年度から26年度までの取組をまとめた「武蔵野市教育史 1990－2014」（第3巻続編）が発刊されました。分厚い教育史を読み返してみますと、武蔵野市の教育の特色やすばらしさに感動しました。その営みのすばらしさや重みについて一言では表せませんが、「子どもファースト」の考えが一貫しています。

武蔵野市の教育のよさについて次のように捉えています。それは、社会の変化や状況に適合した教育環境が整っているということです。耐震や空調設備の整った校舎、ICT機器の整備、生涯学習に通じた図書館や武蔵野ふるさと歴史館等の物的環境は言うまでもありません。特にすばらしいことは、子どもに関わる人的環境が整っていることです。学力向上に向けた学習支援教室や学習指導員、プレセカンドやセカンドスクールでの指導員、配慮を必要とする児童・生徒への特別支援学級や個別支援教室、ティーチングアシスタント等の支援員、心のケアのスクールカウンセラー、朝や放課後のあそべえスタッフ。また、地域コーディネーターを中心とした地域の皆さん。たくさんの方が子どもと関わり、成長を見守っています。武蔵野市ならではの教育のよさがここにあると思います。

さて、10年後、20年後、30年後…、これからの社会はどのように変わっていくのでしょうか。人生100年時代という高齢化とともに、グローバル化や国際化が進み、予測がますます難しい時代に突入したとも言われています。AI（人工知能）化の進展に伴い、Society 5.0（超スマート社会）へ。このような変化の激しい社会で人間はAIと共生（共存）できるのか、学校でもロボットが授業をするのではないかという不安の声も上がっています。

教育では、変えていくこと、変えてはいけないことは何かを見極めることが大切です。私は、人としての機能、人と人とのつながりが教育の普遍的なものであると考えます。これからの武蔵野市の教育を考えると、今まで築き上げてきた「人間力」で子どもを育てる教育に新たな「創造性」を働かせ、武蔵野市ならではのよさをさらに追求していくことが大切であると考えます。そのことが子ども一人一人の幸せに、ひいては武蔵野市全体の幸せにつながるのではないのでしょうか。

次の教育史の発刊では、どのような教育内容が記載されるのでしょうか。それを築く一員として創意ある軌跡が残せるよう、学校・家庭・地域そして教育行政と連携・協働し、誇りとやりがいをもって日々の教育活動に励みたいと考えています。

よよいよ授業のために

アドバイザー & ICTサポーターが活躍しています！

教育アドバイザー

武蔵野市の学校教育の質の向上を図るため、若手教員等の授業力向上のための支援や、学校経営への支援を行う教育アドバイザーが平成23年4月から配置されています。今年度は4名のアドバイザーが担当校を訪問し、研修やアドバイスをを行っています。

訪問研修までの流れ

①指導案を確認 ⇒ ②学校へ行き授業を観察 ⇒ ③その後、指導を行う。



菅原アドバイザー



佐藤アドバイザー

アドバイザーを講師とした 初任者研修会



斉藤アドバイザー



飯田アドバイザー

初任者をはじめ若手教員は、子どもたちのために楽しく分かりやすい授業を行おうと、意欲的に学習指導に取り組んでいます。

そこで教育アドバイザーは学習指導案を基に行った授業を実際に見た後、良かった点や改善すべき点について指導・助言をしています。

これらの研修を通してよよいよ授業ができる教員を一人でも多く増やせるように、日々努力しています。

小学校英語教育推進アドバイザー

平成32年度から小学校では3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語(英語)」の学習が始まります。

武蔵野市では、今年度より外国語の授業づくりについて指導・助言等をする専門のアドバイザーを2名配置いたしました。各小学校を訪問し、教員の「英語の授業力」の向上に努めています。



諏訪アドバイザー 古館アドバイザー
新教材「Let's Try!」と「We Can!」を持って。

よろしくお願ひいたします！

【古館】中学校英語教員として、26年間武蔵野市で培った経験を生かして、小学校外国語から中学校英語へのよりスムーズな流れを作るためにがんばっています。

【諏訪】小学校での10年間の授業実践、4年間の中学校での英語指導の経験を生かして、「英語嫌いをつくらない!」を座右の銘に日々努力しております。

市教育委員会では、子どもたちの学習意欲の向上や分かりやすい授業を目指して、授業に積極的にICT機器を活用するための環境整備を推進しています。現在、タブレットやプロジェクター等のICT機器を活用した授業を推進するため、3名の「学校ICTサポーター」を配置して、先生方の支援を行っています。

学校ICTサポーター（通称アイサポ）



新家さん 鈴木さん 森さん

アイサポの悩みは・・・

ICTサポーターは一人6校ずつ担当しています。ICTは便利な道具です。先生方の負担を少しでも軽減できるように、その便利さをいろいろとご紹介していければと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

児童・生徒の皆さんや先生方の顔が覚えきれないのが悩みの種です。街中で見かけて無視されたとき々言われてしまいますが、無視しているのではないんですよ。ごめんなさい。

教育推進室だよりにお気付きの点やご意見がありましたら、教育推進室までお寄せください。

教育推進室 : 電話 0422(60)1241